

3 後方支援活動

前線で消火活動・巡視警戒活動にあたる隊員を支えたのが後方支援小隊です。後方支援小隊は、宿営地での食事や休憩などの支援を行い、隊員が安全に活動できる環境を整えました。

現場で使われた資器材

1 CAFS（圧縮空気泡消火装置）

CAFSは水と消火薬剤を高圧の空気で混ぜて泡を作り、その泡で包み込んで消す方法です。ホースの重さも通常の半分ほどになるため、消防隊員の負担軽減にもつながります。



CAFSにて消火する隊員

2 熱画像直視装置

目に見えない熱を映像で確認することが可能であり、煙や暗闇に隠れた熱源の検索に役立つ装置です。



熱画像直視装置を使用する隊員

3 背負い式消火水のう

約18ℓの水をリュック型の水のうに入れて持ち運び、手動のポンプで放水する資器材です。消防車から離れた場所の火に対しても放水が可能であり、林野火災の現場で活躍します。



背負い式消火水のうで残り火を消火する隊員

消火活動後の泥だらけの隊員



地表火と呼ばれる延焼が進む現場



林野火災は、ひとたび発生すると貴重な森林資源を大量に失うばかりではなく、人命・家屋等に危険が及ぶことがあります。

林野火災の出火原因の多くは火の不始末、不注意であるため、地域住民の皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な森林資源や人命・財産を火災から守るため、火気の取り扱いには十分気を付けましょう。

秋田県秋の火災予防運動「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」



令和7年11月2日（日）から8日（土）までは秋田県秋の火災予防運動の実施期間です。

空気が乾燥して火災が発生しやすい時季を迎えています。この運動は、火災予防の意識を高めることで、火災の発生を予防し、高齢者を中心とした死傷者を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

火災予防の意識を高めて、火災の発生を防ぎ、尊い命を守りましょう。